

川崎市地域文化財「ひとみ座乙女文楽」。人形一体を一人で造る「一人遣い」で、

『傾城阿波の鳴門 順礼歌の段』を上演します。繊細な所作と深い情感をお楽しみください。



乙女文楽

令和8年 **11月21日(土)** 14時開演
(開場は13時30分より)

会場 東海道かわさき宿交流館4階集会室

出演 ひとみ座乙女文楽

定員 当日先着100名(全席自由) / 料金 1,500円(当日券のみ)

解説 ジャパンロジューミュージアム代表 山縣 基与志

主催 東海道かわさき宿交流館

協力 公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会、公益財団法人 現代人形劇センター



松本 幸子

山下 潤子

鈴木 文

安藤 麻衣

小川 ちひろ

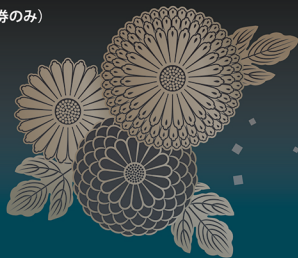
<ひとみ座乙女文楽>

創始者桐竹門達の直弟子である桐竹智恵子師に59年前から教えを受けてプロとして活動する一団です。師の他界後は、文楽の人形遣い桐竹勘十郎師の指導を仰ぎ、国内外で公演し高い評価を得ています。

地元川崎市での活動にも力を入れ、さまざまなプログラムを開催しています。2018年に川崎市地域文化財として顕彰、2019年に松尾芸能賞特別賞を受賞しました。

<乙女文楽とは>

日本を代表する伝統芸能「文楽」から生まれ、大正末から昭和の初めに文楽の人形遣い五世桐竹門達らが始めて人気を博しました。文楽では3人で1体の人形を操るところを、人形の仕組みに工夫を施し、1人が1体の人形を操る「一人遣い」の形式です。また女性のみで演じられてきたのも特色です。



次回予定 江戸時代の粋に遊ぶ その67 「水芸」
出演：日本奇術協会

令和9年1月16日(土) 14:00開演 (開場13:30)
料金：1,500円(全席自由/当日券のみ/定員100名)

※開催日程は予告なく変わる場合がございます。予めご了承ください。

【交通アクセス】 JR 川崎駅 中央東口 徒歩約10分 / 京急川崎駅 徒歩約6分

〒210-0001 川崎市川崎区本町1-8-4

【TEL】044-280-7321

東海道かわさき宿交流館

